

……座談会から見えてきたこと……

「男もだち・女もだち」とは、生活の現実を目を向けようという発想から生まれた企画。

家庭と職場のほかにも、さまざまな生活行動や人間関係があることから、そこにおける友人関係を、男女共同参画の視点から話しあっていたいただきました。

そして、結果はどうだったのか。

以下は、編集委員の学習をかねた「振り返りの話し合い」を要約したものです。

# あなたもドアを ノックしてみませんか

## 友だちに

## 男女の線引き したことない？

「仲のいいグループであっても、異性と、ほん

とくに気兼ねなく話せるようになるのは、その人の好きな人が自分ではない……とはつきりわ

かってからですね」

「異性の友だちは、グループのなかにはいるけど、1対1の関係というのは難しいようです」

「たとえ自分たちはよくても、世間は誤解しやすいから、気を使ってしまうのでは？」

「異性の友だちは必要だし、楽しいけれど、疲れるといふ意見もありましたね」

「同性同士が群がるのが、人間社会の自然な形なんじゃないか？」

「でも逆に女性からは、異性の友だちのほうが

気がラクだという意見も出ています」

「女性同士だと、妬みとか嫉妬が起きやすいから、異性のほうが気が楽なのでは？」

「なんにしても、同性で群がっているだけでは、男性と女性の相互理解は進まないでしょうね」

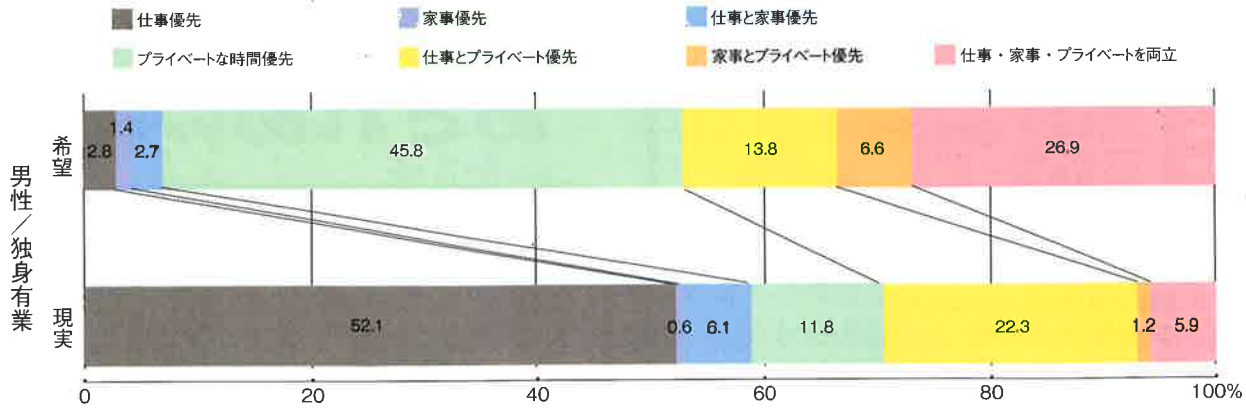
「友だち」についての考え方などは男女でけっこう違うことが、座談会でわかりました。また、

「異性の友だちは、恋愛へ発展することがある。だから同性のような友だち付き合いは難しいのでは」という考えと、「友だちについて、男とか女とか線引きをしたことなかった」という

意見が、男女双方から出ていました。

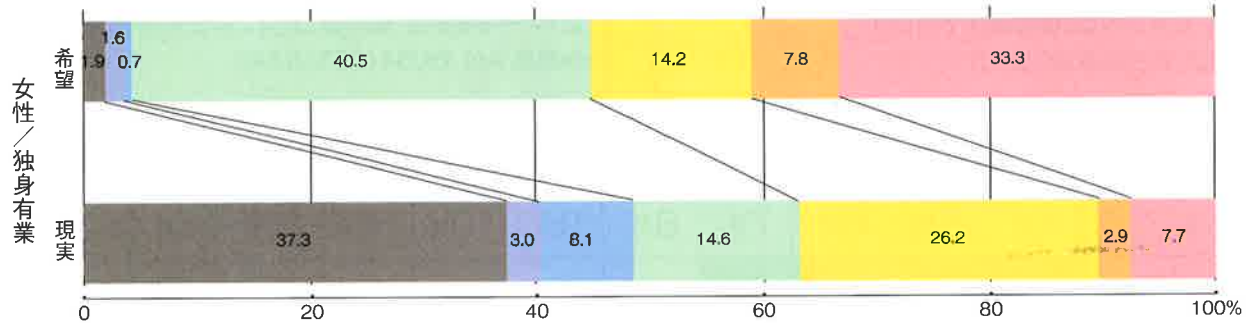


やはりプラスアルファがないとね!



これは「ワーク・ライフ・バランス」に関する、独身男性・独身女性(いずれも働いている人)の意識の現実を示す、ひとつのデータです。(内閣府男女共同参画局・平成18年度調査)。

これによると「生活を優先したい」という独身者の希望は、既婚者よりもはるかに高率であることがわかります。



## 知らない世界のドアをノックできますか？

「女性で話題になるのは、アート・ファッション・食べ物。男性は政治・経済・スポーツなどが中心になりやすいという話がありました」

「ただ、女性同士でそういうことを話題にするのは、かなり親しくなってるからですよ」

「たとえば、母親同士なら教育・学校・地域のこと。高齢者同士なら健康のこととか」

「それは友だちというより、知り合いとの会話では？」

「どこから変わるのかな？」

「たとえば、PTAの役員会のときだけなら、単なる知人。気が合うから食事などに行くと、

「家庭と職場以外で男女共同参画を考えられるつながりつて、趣味・世代・地域などですよ」

「そう。家庭と職場がうまくいけば、男女共同参画が実現するかといえば、そうではないと思う。逆に、絆が強い家庭や職場では、こじれたら大変なことになります」

「配偶者と価値観が違うと、すごく落ち込むという意見があったけど、よくわかります。狭い生活空間では、視野や思考が広がらないので、自分を追いつめてしまうんですね」

「家庭や職場以外の世界は、換気装置になると思います。生活の風穴みたいな」

「少しマイナスな表現をすると、逃げ場でしょうか」

「でも逃げ場があると、心にゆとりができて、それが豊かな生活になっていくと思います」

そこで初めて距離が縮まり、友だちになる。男でも女でも知人にプラスアルファがないと、友だちの関係にはならない」

「たしかに心理的距離感は、ひとつのポイントですね」

「友だちは、豊かな人生を過ごすために必要」というのが、座談会出席者のみなさんの共通したご意見でした。

「・・・となると、「豊かさ」とはなにかということになります。

「やはり男女共同参画を進めていくためには、世代・性別を超えた交流は大事ですね。でも、その交流をするきっかけが難しい」

「身近に達人がいたら見習っていかうとか。社会性のある活動をしていると、自然に多様な友だちができるようになります」

「ただ、ご本人に、友だちをつくりたいという気持ち、意欲がないと・・・」

「友だちつて、自分を確認できる存在だという意見がありましたね。確かに友だちは、自分を映す鏡でもあるし、パワーをもらえる仲間でもあるわけで」

「自分の知らない世界のドアをノックして、人間関係の幅を広げられたら楽しいですね」

「人が生きる意味とか楽しさで、そういうものなんですよ」



# 学ぶ

セミナー・  
講演会の開催

自分を変える!  
自分が変わる!  
男女共同参画を切り口に新しいあなたに!

☆詳しくは、ホームページで!  
<http://azarea.pref.shizuoka.jp/index.htm>

# 調べる

充実の図書室

豊富な蔵書!  
楽しい読み聞かせ!タイムリーな特集!

ホッと、ゆったりタイムを!  
<http://azarea.pref.shizuoka.jp/tosho/azareatosho.htm>

# 相談する

あざれあ相談

◇あなたの悩み、お話しください。  
女性相談(電話、面接・弁護士・精神科医相談)  
賀茂 ☎0558(23)7879 東部 ☎055(925)7879  
中部 ☎054(272)7879 西部 ☎053(456)7879  
電話相談は平日9:00~16:00  
男性相談(電話相談) ☎054(272)7880 毎月第3土曜日午後

◇あなたの挑戦を応援します。  
再就職・起業等相談(面接相談で月2回)  
予約電話 ☎054(250)8107

# あざれあの紹介

# 使う

貸し会議室

用途に合わせてインターネットで簡単予約!  
<http://yoyaku.pref.shizuoka.jp/>  
☆少人数の会議室から350人の大ホールまで  
☆料理のできる生活関連実習室、お茶会ができる茶室、音楽練習ができる音楽室、軽運動に利用できる多目的室等もあります。  
会議室受付 ☎054(255)8440

## 20年度開講予定 あざれあ年間講座一覧表

講座名 ☆あざれあ会場以外で実施

内容

募集期間 講座実施期間 実施予定日 H20.2.4現在

講座名	募集定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
あざれあ基礎講座(全6回) ~見つめてみよう生き方・働き方・暮らし方~	一般40人	募集	実施	実施	実施								
あざれあサテライト講座☆(2会場)	一般50人					募集	募集	実施		実施			
ファシリテーター・ステップアップ講座(全6回)	一般40人	募集	募集	募集	募集	募集	実施	実施	実施	実施			
女性リーダーセミナー(全4回)	一般30人			募集	募集	募集	募集	実施	実施	実施			
メンズセミナー(全3回)	一般30人			募集	募集	募集	募集	実施	実施	実施			
男性相談員養成セミナー(全4回)	一般20人	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	実施	実施			
女性のためのカウンセリング講座(全4回)	一般30人	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集		
チャレンジ支援講座(5回)	一般30~120人		実施			募集	募集	募集	募集	募集			
女性相談フォローアップセミナー(1回)	一般40人								募集	募集	実施		
DV防止講演会(1回)	一般120人							募集	実施				
県民の日 映画鑑賞会(1回)	一般350人			募集	募集	実施							
地域カレッジ(3会場)☆	一般100~300人		募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集			
事業所出前講座(5会場)☆	事業所対象30~1000人	募集	募集		募集	募集	募集	募集	募集	募集			
大学出前講座(3大学)☆	大学対象40~300人	募集	募集				募集		実施	実施	実施		
教育セミナー(1回)	教育関係者120人			募集	募集	募集	実施						
児童・生徒・保護者・PTA・教職員セミナー(8校)☆	学校対象30~1000人	募集		募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集			
職務関係者セミナー(3会場)☆	市町・職務関係者30~100人		募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集			
市町職員セミナー	市町職員30人		募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集	募集			
伊豆地域市町職員セミナー(1回)☆	市町職員30人			実施									

(このほかにも一般県民向けの講座を企画中です。)

## 51号「グラッ!必ず起こります!?!」を読んで

\*隣近所のお付き合いが大事な事はよくわかります。が、最近の物騒な事件を聞きますと、小学生や中学生は知らない人に声をかけられても返事をしないようです。ですから、隣近所のことを家族でもう少し話題にして、どんな人がいるのかを話してもらいたと思います。  
(静岡市・横手淳子さん・60代女性)

\*地域に頼りになる親しい知人をつくって、日頃からみんな仲良く助け合っていくことが大切です。  
(藤枝市・岡冨子さん・70代女性)

\*内容が硬くて、真面目すぎると思います。これでは多くの方に読まれないのでは… (静岡市・山梨康治・70代男性)

\*2007.10.1.Vol.51を12月23日 ともりあにて入手。家に帰り読み進んでゆく内に胸がドドキしてエー何、これ、自分と同じ思いがここに書かれているじゃん。何年もセンターがほしいこれからの磐田には男女共同参画センターがどんなに必要かそれはこの一点です。災害が起きたなら今までの磐田では済まされないゾ。磐田市は合併で海沿い(福田)川沿い(豊田)を抱き込んでの新しい磐田市となればその時女性の力が必要です。

## 52号のご感想をお寄せください。

本号のハサミ込みハガキ、またはe-mail、FAXでも結構です。

抽選で美術館招待券などを差し上げます。 **FAX 054-251-5085**

e-mail: [kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp](mailto:kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp)



- 是非論にしない、結論ありきの取材はしない、画的な価値観を強要しない…。否定的モデルがわかれば編集の積極的モデルが見えてきます。加えて、「ミニニケーシヨンの達人になれたなら…」。(染谷絹代)
- 人と接する楽しさは、相乗効果で良いものを生み出す感動があること。編集の勉強以上に、学ぶものがたくさんありました。自分の言葉で、伝えたいことが伝わるように、これからもつくり出す経験をしていきたい。(村田美千子)
- 幼馴染とか同級生以外で異性の友達は作りにくいものです。でも苦労して何かを共にやると意外にすっとできたりします。編集作業などは打ってつけでした。バカなところも非力なところもさらけ出して、やるしかなくて。(永島京子)
- 伝えたいことに沿って企画を組んでも、なかなかうまく文字にして伝えられない時があります。これって会話と同じですよ。拙い会話にもしっかり返事をくださる読者の皆さんをこれからも大切にしたいものです。(梅村まどか)
- 本誌制作の過程では、テーマ討議、研究アンケート取材、座談会など、様々な「出会い」がありました。まだまだ「駆け出し編集員」なので、難点を挙げればきりがありませんが、興味の引く記事を作っていきたいです。(安田成希)



### 編集後記

編集委員

梅村 まどか

染谷 絹代

永島 京子

村田 美千子

安田 成希

アドバイザー

木村 幸男

- あなたも一緒につかっていきませんか?
- 平成20年度「ねっとわあく」編集員募集要項**
1. 募集人員 若干名
  2. 編集作業 「ねっとわあく」取材、編集に携わります 年間16日前後(取材日を除く)
  3. 作業場所 静岡市駿河区馬淵1-17-1 「あざれあ」
  4. 募集期間 平成20年3月21日(金)から4月21日(月)
  5. 問合せ先 NPO 法人静岡県男女共同参画センター交流会議  
電話 054-250-8147 E-mail: [kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp](mailto:kouryuukaigi@ka.tnc.ne.jp)
  6. その他 手当、交通費支給



## ねっとわあく Vol.52

監 修 / 静岡県男女共同参画センター  
 発 行 日 / 平成20年3月1日  
 住 所 / 〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1  
 T E L / 054-250-8107 FAX / 054-255-9266  
 発 行 / あざれあ交流会議グループ  
 編集協力 / esplanet! すずきえいこ